

＜ 2011年農林水産研究成果10大ピックアップ＞
農林水産技術会議事務局

＜タイトル＞

人類が初めて目にした天然ウナギ卵 -ウナギ産卵場2000年の謎を解く-

＜当該研究成果のポイント＞

過去のウナギ産卵場調査で得られた知見をもとに、2009年5月の西マリアナ海域におけるニホンウナギの産卵日、産卵場所、産卵水深等を精密に推定し、大型プランクトンネットによる集中調査を実施した結果、5月22日の未明（新月の2日前）に世界初となる天然ウナギ卵31粒の採集に成功した。

この成果によって、ウナギの産卵生態に関するこれまでの3仮説（海山仮説、新月仮説、フロント仮説）が証明され、ウナギ産卵場の謎が完全に解明された。

本研究は農林水産省委託プロジェクト研究「ウナギの種苗生産技術の開発」で実施された。

本成果は、英雑誌Nature Communications（2011年2月1日）に掲載された。

＜期待される効果・今後の展開など＞

ウナギの産卵生態と仔魚の成育環境が解明され、シラスウナギの人工飼育環境に関する科学的根拠が得られたことにより、今後のウナギ種苗生産技術開発がさらに加速すると期待される。

世界的に激減したウナギ資源の保全と国際管理に不可欠な科学的情報が得られるようになった。

＜研究所名＞

（国）東京大学大気海洋研究所、（独）水産総合研究センター

＜担当者名＞

（国）東京大学大気海洋研究所

海洋生命科学部門 塚本 勝巳 TEL: 04-7136-8146

（独）水産総合研究センター 増養殖研究所

ウナギ量産グループ長 田中 秀樹 TEL: 0599-66-1854

沿岸生態系グループ長 張 成年 TEL: 046-856-9408

主任研究員 黒木 洋明 TEL: 046-856-2888

＜連絡先＞

（国）東京大学大気海洋研究所

広報室長 西田 睦 TEL: 04-7136-6210

広報室 TEL: 04-7136-6430

ウナギの産卵生態調査の成果

- ・ウナギ仔魚の採集、ウナギ成熟成魚の採捕(2008年世界初)、**ウナギ受精卵の採集(2009年世界初)を通して、ウナギの産卵回遊・繁殖生態を解明。**
- ・親魚、卵、仔魚の生息環境を把握し、親魚養成、種苗生産技術開発に応用。

